

羽幌町公共施設白書

平成 27 年 3 月
羽幌町



はじめに



平成 24 年（2012 年）12 月に発生した中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故など、近年、国民の生活に必要な不可欠である公共施設やインフラの安全性や信頼性を揺るがすような事故が起きています。

このような事故からもわかるように、我が国においては公共施設等¹の老朽化対策が大きな課題となっており、羽幌町においても同様に、公共施設等の老朽化対策が課題となっています。

本町では、昭和 40 年代の人口増加や住民ニーズの拡大に伴い、公共施設等の整備を進めてきており、これらの公共施設等は、これまで住民生活の質の向上等に貢献してきました。現在その多くの公共施設等は建設後 30 年を超え、老朽化が進行している状況であり、これから一斉に更新時期を迎えます。

現在の厳しい財政状況を踏まえると今後、これらすべての公共施設等をこれまでどおりに維持していくことは難しい状況であり、このままでは安全性・機能性・快適性といった必要な住民サービスを提供できなくなる可能性があります。

今後も必要な住民サービスを継続的かつ安定的に提供していくためには、公共施設等の現状と課題を把握し、長期的な視点をもって、公共施設等の配置や規模・運営方法等の見直しを進めていく必要があります。

本町では、これまでも「心と心をつなぐハートコミュニケーションはぼろ」を基本理念に掲げ、「地域の自然が育む豊かなまち」、「誰もが居場所と生きがいを持って暮らせるまち」、「安心して魅力的な田舎暮らしができるまち」を基本目標とする第 6 次羽幌町総合振興計画（ほっとプラン）（平成 24 年度（2012 年）～平成 33 年度（2021 年））や島の再生への道筋と将来像を明らかにするため、離島総合振興計画（平成 25 年度（2013 年）～平成 34 年度（2022 年））を策定してきました。また個別の公共施設分野に関しても、公営住宅や橋りょう等の長寿命化計画を策定するなど、公共施設等の現状把握と将来計画の策定等に取り組んできましたが、公共施設等全体の現状把握と課題整理は未整備の状況でした。

羽幌町公共施設白書（本白書）は、住民の皆様が公共施設等の現状や課題を知っていただくために、本町が保有する公共施設等の現状（経年劣化や利用状況、運営状況等）や公共施設等を取り巻く人口や財政等の状況、公共施設等に関わる課題などを整理して、白書として取り纏めたものです。これから本白書を、公共施設等のあるべき姿を検討するための基礎資料として活用していきます。

¹いわゆるハコモノと言われる公共施設（建築物）とインフラ（道路、橋りょう、上水道、下水道）を含めた総称を表します。

本白書では、公共施設等を下表の分類に整理しています。

表 公共施設等の分類一覧表

区分	No	大分類	中分類	施設例
公共施設	1	コミュニティ施設	集会施設	集会所/地区コミュニティセンター
	2	社会教育施設	社会教育施設	羽幌町中央公民館
			文化施設	郷土資料館/焼尻郷土館
	3	体育施設	スポーツ施設	羽幌町営スキー場びゅう/総合体育館
	4	公園施設	公園施設	オロロン海道さわやかレストルーム/羽幌スポーツ公園
	5	学校施設	学校施設	小学校/中学校/高等学校
			教職員住宅	教職員住宅
			その他教育施設	給食センター
	6	福祉施設	保育所	羽幌保育所/天売ちびっこランド
			老人福祉施設	特別養護老人ホームしあわせ荘/デイサービスセンター
			その他福祉施設	すこやか保健センター/子ども発達支援センター
	7	産業施設	農業系施設	旧焼尻野菜育苗施設/農業試験所
			水産系施設	旧うに人工種苗生産センター
			畜産系施設	焼尻めん羊育成施設
			観光施設	サンセットプラザはぼろ/天売展望台
			港湾施設	フェリーターミナル
			交通施設	バス待合所
その他産業施設			ハートタウンはぼろ/サンセットビーチセンターハウス	
8	行政施設	庁舎	羽幌町庁舎/天売支所/焼尻支所	
		職員住宅	職員住宅	
		環境衛生施設	羽幌霊園/焼尻火葬場	
		その他行政施設	羽幌町車輛総合車庫/建設課詰所	
9	公営住宅	公営住宅	栄町夕陽ヶ丘団地/朝日団地	
10	上下水道施設	上下水道施設	羽幌浄化センター/市街浄水場/公共下水道羽幌ポンプ場	
-	解体予定施設	解体予定施設	旧羽幌町葬斎場/旧小中学校跡	
土地			行政財産/普通財産	
インフラ			道路/橋りょう/上水道/下水道	

※付属施設(物置、トイレ等)は、主要用途の施設に区分。

- ※ 本白書で扱った公共施設等のデータは、原則として平成26年(2014年)3月31日時点の資料に基づいています。
- ※ 上記以外の時点の資料を使用している場合には、個別に説明を加えています。
- ※ 本白書で示している将来費用は、公共施設等の延床面積や延長に平均的な単価を乗じた推計値であり、実際の大規模改修や建替えの際には個別に工事費等の算出を行う必要があります。
- ※ 各施設の詳細なデータは「第6章 資料編」を参照してください。



目次

第 1 章	人口・財政の状況	1
第 1 節	人口.....	2
第 2 節	財政.....	4
第 2 章	公共施設等の状況（全体）	7
第 1 節	保有状況および利用状況（土地及び公共施設）.....	8
第 2 節	老朽化などの状況（公共施設）.....	19
第 3 節	保有状況（インフラ）.....	25
第 4 節	老朽化の状況（インフラ）.....	26
第 3 章	公共施設等の状況（用途別）	27
第 1 節	コミュニティ施設.....	30
第 2 節	社会教育施設.....	32
第 3 節	体育施設.....	34
第 4 節	公園施設.....	35
第 5 節	学校施設.....	38
第 6 節	福祉施設.....	40
第 7 節	産業施設.....	42
第 8 節	行政施設.....	44
第 9 節	公営住宅.....	46
第 10 節	上下水道施設.....	48
第 4 章	将来費用の推計	51
第 1 節	公共施設の将来費用.....	52
第 2 節	インフラ（道路、橋りょう、上下水道）の将来費用.....	54
第 3 節	将来費用の総計（公共施設とインフラ）.....	55
第 4 節	現状と今後 30 年間の投資的経費の比較.....	56

第 5 章	公共施設等の課題とマネジメントの必要性	57
第 1 節	公共施設等の課題.....	58
第 2 節	課題解決に向けた羽幌町の取組み.....	59
第 6 章	資料編	61
第 1 節	将来費用の試算方法.....	62
第 2 節	個別施設データ.....	62